



要介護二が四百二十八人、要介護三が三百四十四人、要介護四が三百六十六人、要介護五が三百三十四人でした。また、介護保険の対象とならない自立と判定されたかたは六十六人で、全体の二・八%と前回の報告よりも〇・五二%減少していますが、要介護三以上の重度のかたは全体の約四四%で、前回とほぼ同様です。

介護保険の保険料は、国の特別対策として半年間は第一号被保険者の保険料を徴収せず、その後一年間は保険料を半額とする経過措置がとられており、十月から保険料の徴収が開始されます。

老齢・退職年金が年額十八万円以上のかたは、特別徴収として年

金から保険料が引かれ、十月から三回に分けて差し引かれます。それ以外のかたは、普通徴収として十月から一月までの四期に分けて納付書で個別に納めていただきます。特別徴収、普通徴収いずれも保険料の額については、十月初旬に被保険者のかたに通知するほか、広報大館などで市民の皆さんに周知を図っていきます。

盛り上がりしました 大館大文字まつり

恒例の夏まつり「大館大文字まつり」は、今年も八月十六日に開催されました。小学生によるゴールデンパレードや大文字おどり、ぶっかけ御輿への参加者は、昨年には及ばなかったものの五十四団体、三千六十一人となりました。また、大町中央通りで初めて行われた協賛イベント「大文字まつりでサンバを踊ろう」は、十四チーム、百五十人の参加で大変盛り上がりしました。新たな参加型イベントと期待しています。

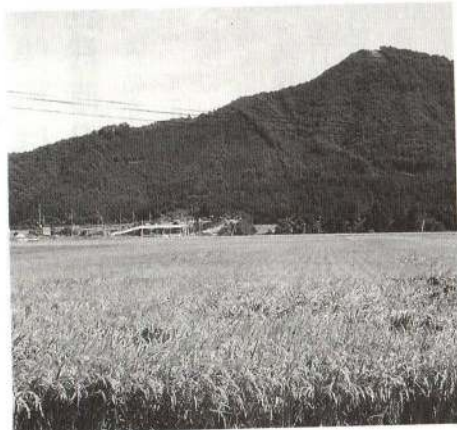
夜の大文字焼きと花火大会は、幻想的な火と水と光と音の共演を見事に描き、長木川広場を埋めつくした観客を魅了しました。今年も、好天に恵まれたことや新企画のサンバ効果もあり、十八

万五千のかたに大館の夏祭りを楽しんでいただきました。ご協力いただきましたかたに感謝申し上げますとともに、今後も一層内容の充実を図っていきます。

農作物の生育 気象情報に注意

基幹作物の水稲は、穂数・もみ数が多く登熟も順調で、平年を上回る作柄が期待されていましたが、九月二日未明からの強風と雨により、市内全域にわたり稲の倒伏が見られます。このため、作業の遅れや品質の低下などが懸念されますので、適正な刈り取り時期などの指導に努めてまいります。

また、今年もカメ虫などの害虫の成長や繁殖に適した天候が続いていますので、広報車による呼びかけや「あぜみちだより」の配布な



どにより警戒と防除を促してきたところでは、六月下旬以降の高温・小雨による干ばつの影響で、ネギ、アスパラガスなどに作業の遅れや生育の停滞が見られます。果樹では、リンゴやナシの一部に日焼けが確認されています。しかし、その被害は少なく病害虫の発生も少なめで、平年作は確保できる見通しです。また、畜産は、鶏が七月末から八月初めにかけての熱波で約六千羽が死ぬ被害がありました。

これからの収穫期は気象変動が予想されますので、気象情報を的確にとらえ、各関係機関と連携を図りながら適正な指導の徹底に努めていきます。

そのほかの行政報告

- ▽第三次大館市国土利用計画
- ▽環境美化推進事業
- ▽市役所来客駐車場の拡大
- ▽土壌洗浄による資源回収事業
- ▽乳幼児福祉医療費の支給対象年齢の拡大
- ▽平和祈念・戦没者慰霊式
- ▽平成十二年度成人祭
- ▽長走風穴館入館者十万人目標イベント
- ▽公共事業の進展状況